

## 北海道奈井江町の大樹さん

特別住民番号008

大樹は、三人姉兄の末っ子として、H3、4月8日に生まれました。生まれて、2日目位からミルクの飲みが悪く、黄疸が強くなり、そのうちにミルクは全て吐くようになり、小児科の方に入院してしまうようになりました。

検査の結果は、新生児性多呼吸と言うことでこれからは、普通に生活をしていいと言われましたが、入院していた二週間ほどは、親としては、生きたこちがしなかった日々でした。



入院していた間に考えた名前が、自然にちなんだ名前を考えていたので、CMソングで使われていた♪この木なんの木 気になる木♪の画面に出ていた、太くてとても大きな木、強い生命力を感じさせられて、あの木のように、太くてとてもたくましく、生命力にあふれていて、カブよく、伸び伸びと育てほしい、と言う思いから、大樹と名づけました。

大樹と書いて、ヒロキと読みますが、初めての人には、タイキくと読まれることが多いのですが、一度覚えてもらえば、ヒロキと呼んでもらえるので、いいかなと思っています。

ちなみに、長女は、麻実(アサミ)と言い、私が海が大スキなんで、朝海としたかったのですが、字数を考えて、麻実にしました。

長男は、迷わずに北海道の広大な大地を考えて大地と名づけました。

これからも、姉兄仲よく、人に迷惑をかけずに、自分のやりたいと思うことを見つけ、ガンバッテほしいと思います。

大樹町の役場のみなさま、ステキな企画を考えて下さり、ありがとうございます。

(母)

## 北海道函館市の大樹さん

特別住民番号015

私どもの長男「大樹」は「ヒロキ」と読みます。

初めての子供という事もあり、月並みですが父親の一字をとって、という事と成長と共に多くの枝葉のつく人生であって欲しいという私達の願いを込めてつけました。今考えると「たいき」という読みの方が良かったかなと思う時があります。役所や病院などで呼ばれる時はほとんどが「たいきさん」と言われるので、後々の事をもっと考えると良かったかなと思う時がありますが、当の本人はいたく気に入ってるようなのでそれが一番かなと思ったりしています。現在は高校1年生になり、バスケットボールに夢中の大きな木になりつつある？少年に成長しました。次男は両親の深い考えもなく、ただ響きが良いという事で「徹郎」という名前をつけました。この名前は大成功で、「てつろう」という呼び方以外の呼ばれ方をした事はありません。どちらの名前も当人達が気に入っているのでまあ、良かったかなあと考えています。



夏休みに、道央まで足をのびした旅行をしました。大樹町の事はすっかり家族皆の頭になく、せつかくトナムや富良野まで行ったのにとっても残念に思っています。近い将来必ずや行きたいと思っていますがたぶん大樹は私をパートナーには選んではくれないでしょう。(母)

## 北海道函館市の大樹さん

特別住民番号016

私は、この子を出産したのは平成9年2月15日でした。予定日は、2月17



日でした。予定日の10日前にはいつ産まれてもおかしくないと言われ…とでも待ちどおしかったです。そして予定日2日前の2月15日、この子のベビー布団など注文していたのが入荷になり取りに行ったり、銀行へ振り込みしたりと済ませたい物を全部済ませ家へ帰ったとたん出血し、すぐ病院へ電話した所入院の用意して病院へ来て下さいとの事……。その時の時刻は、お昼の1時過ぎ、しかし病院で内診してもらった時は、「まだまだです」と言われ主人に夕方には帰ってもらいました。そしたらなんと夜7時過ぎた頃陣痛が急にヒドクなり、看護婦さんもあわてて分娩室へと移動させてくれて、無事、8時58分に出産しました。病院の方で主人に電話で連絡してくれて、出産後すぐ子供を見る事が出来たのです。この子の名づけ親には主人です。字の通り大きな樹木のように周りの意見、もめ事があっても振り回される事なく地面に長～い根をはってる様な芯のある男の子になってほしいと願い命名しました！（母）

父 春樹  
母 昌子  
子 大樹

## 北海道根室市の大樹さん

特別住民番号018

私の息子は、大樹と書いてヒロキと読みます。この字を使った名前は、けっこう多いようですね。今から11年前に生まれ名前をあれこれと考え、病院にいる時、夫が5つぐらい考えて、書いて来ました。最後に残ったのは、和樹と、大樹。私はやっぱりヒロキが気に入り、夫はカズキがいいと、ちょっともめました。大きな木のようなそしてその中にいると安心するような、そんなやさしさのもてる元気な子になってほしいと思い大変気に入ってました。そのころこの樹をつかった名前がはやっていたと言え、そのえいきょうもあったと思います。なにしろこの子供は11年ぶりに出来た子供なんです。上に姉がいます。姉ちゃんが生まれてから11年間ずっとまち望んでいた子供です。姉ちゃんが5年生になって、冬休みに入り、もう4日でお正月という、あわただしい暮れに生まれました。ヒロキが出来た時は、ゆめのような信じられないような、あの時のことは、一生わすれられません。そんな、まちのぞんでいた男の子です。何か11年間の気持ちを、この子に、そして名前にすべてたくしたような気がします。大樹町にも、わざわざ2回行って来ました。大樹と書いた、かんばんの前で写真を取り、小学校へ行くころに、ここの町は、あんたと同じ字の所だよ。と見せました。本人は、なんなんだろうと思っていたかもしれませんが私は、うれしかったです。この字のように、大きな気持ちをもって、手を広げて、まわりの人のために、雨やどりをさせてあげるような、そんな、やさしさを、いつもわすれず大人になってほしいと願っています。



大樹と書いて、たいき、ひろき、だいじゅ、だいきその他いろいろ読み方が、あるでしょうが、いい字ですね。この字を使ってほんとうによかったと思います。また大樹町と、いろいろなことで、関係をもてることを楽しみにしております。今回もありがとうございました。（母）

## 北海道浜頓別町の大樹さん

特別住民番号027

だんご三兄弟の三男です。  
お兄ちゃん2人は、利喜雄、修平とつけました。さて3番目のこの子にはどのような名前をつけようかな？大(だい)という字が入っているといいなア、貴ノ花の貴(たか)を使って大貴(だいき)がいいねエ、空気や大気圏、とかのイメージで、「たいき」と読むようにしようよ！……………そして「大貴(たい



き)」と決まったのです。稚内の市立病院では名前が決まると赤ちゃんの産着に名札をつけてくれます。1日だけ「大貴」と、書いた名札をつけたのですがなぜ1日だけかという、次の日におじいちゃんが病院に来て、「大樹(だいき)」がいいよ。という事で、次の日には「大樹」の名札をつける事に、ただ地球をとりまく空気のイメージは、残らなかったの読みは「たいき」としました。

しばらくおじいちゃんは、「だいき♪」と呼んでいました。

パパは今、なんで「大貴」から「大樹」になったか思いだせないよなア……とつぶやいております。(母)

## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号028

我が家の大樹は、平成9年5月28日、予定日より2週間早く、次男として生まれました。2334gと、とても小さい体で、大きな産声を上げました。待望の2人目で、喜んでいたのも束の間。翌日の夜中、赤ちゃんの容体が急変。呼吸障害で、小児センターへ運ばれて行きました。



入院の手続きの為主人と2人でセンターへ行き、面会した時には、小さな手・足に点滴、鼻には管、口には人工呼吸機と、変わり果てた我が子の姿に声も出ず、涙があふれ、2人で泣きました。先生の話では、呼吸障害による心臓肥大、脳浮腫。もう少し来るのが遅かったらダメだった。原因不明の脳炎で2~3日は予断を許さない状態だと…。とても悲しく、辛い先生の話に、うなづくだけでした。この時、何とか生きてほしい。障害が残っても、命があるだけでいいと、覚悟を決めました。でも、もし赤ちゃんに万一の事があったら、名前がなくては、かわいそうだと思い、すぐに考え付けたのが、大樹でした。小さな赤ちゃんなので、大きな樹木の様に育ててほしいと願いを込めて、私が付けた名前です。

その後、低血糖による呼吸障害で、脳炎に似た症状が出た事がわかり、治療の結果、見る見る回復し、1カ月程で退院となりましたが、脳のCTの結果が思わしくなく、通院。入、退院を繰り返し、今では脳性マヒによる身体障害者となってしまいました。でも悲しい事ばかりじゃありません。家族が協力し合い、みんなでいろんな所へ出掛け、楽しんでます。

平成10年10月には、三男も生まれ、大樹はお兄ちゃんになりました。

毎日、忙しくしていますが、大樹は大きく元気にしています。弟から良い影響を受けながら、兄弟3人、元気に育ててほしいと思っています。

大樹町にも、必ず遊びに行こうと思っています。(母)

## 北海道北広島市の大樹さん

特別住民番号030

息子の名前は「大樹(だいき)」と言います。男の子なので、大きくたくましく育ててほしい。木は1本ではなく、何本も重なり合って樹木のように(多くの人達と出会い、互いに助け合って)育ててほしいと、親の願いを込めて名付けました。私は高校生時代、新得町に住み、帯広の学校へ通っていました。同級生には大樹町を通る広尾線(旧国鉄)で通学している人もいましたし、当時「愛の国から幸福へ」のキャッチフレーズで、



愛国駅と幸福駅が大ブームだったのを覚えています。ある夏休みのこと、友人達とキャンプをすることになりました。夏は海がいいと言うことで、「大樹町」が選ばれました。雨上がりだったせいか、波は高く、「ザブン、ザブン」と大きな音を立てていました。それはちょっと怖かったけれど、壮大な自然のパノラマでした。私はしばらく見とれていました。高校生ですし、キャンプブームでも無かったけれど、海岸でたき木を拾い、飯ご



うでごはんを炊いて、友人達と語り合いながら食べたジンギスカンの美味しかったことは、今でも忘れられません。大樹町で過ごした青春の1ページ、大樹の命名する時に、私の心のどこかにあったのでしょうか。今でも大樹町を想像すると、どこまでも広がる海が頭に浮かんできます。高校生時代から26年間も忘れていた町のことが、今年の「大樹町名誉町民」の企画で蘇り、すぐ10月に掛ける準備をしていたのですが、私も大樹も体調をくずし、実現できませんでした。今年こそは必ず、家内と娘におこられないように、大樹と家族4人、大樹町のチーズ・野菜・ワインなどを舌鼓しに出掛けます。最後に大樹町がますます栄えることを祈っております。(父)

## 北海道江別市の大樹さん

特別住民番号058

大樹(ひろき)ぼくの名前の名付け親は祖父です。祖父には、ぼくのお父さんを頭に、3人の男の子に恵まれました。祖父は、この3人の男の子に「人」の字をついた名をつけました。ぼくの父に、文人、次男は全人(まさひと)三男に章人と人は一人で生きられない。支えつつ支えられつつ生きるものだ。「人を大切に生きる」そんな心の優しい男に育てて欲しい。そんな素晴らしい発想から名付けたそうです。そんな発想から男3人女3人の孫6人にも字のどこかに「人」の字が読み取れる名をつけています。因に、ぼくの大樹の大の字が人の字になっているではありませんか。この名前を決定する過程で、ぼくの父と若干意見のやりとりがあったそうですが、祖父の意見は、里の語呂にも通じる。ちょっと苦しいけどなァーと言って、その里に一本の大きな樹が生い茂っている威風堂々と大地にがっちり根を張り、左右に拵げた枝は他を圧する迫力を感じさせ寄らば「大樹の陰」。



頼りになる大物として育ててくれることを願って命名する。親馬鹿ならぬじいじ馬鹿まる出しの理屈を並べてぼくの父を説得したそうです。しかし父も最初の子供、男の子だからどこの親もするそうですけれども「子供の名前のつけ方」などの本を買ってきたり、易に見てもらったりして真剣に考えたそうです。お母さんは、おじいちゃんとお父さんに任せますといて「あっち向いてホイ」だったそうです。易を見てもたら「この名前は誘拐の難を持っている名前だと」易が出たそうです。その頃は身代金を目的にした幼児の誘拐事件が多発していたそうです。それを聞いたおじいちゃんは「何を言っているんだ!」「吉展ちゃんや他の被害者の家はほとんど全部が資産家のところばかりでないか、たかだか地方公務員のお前の家を狙うもの好きはいない」と一蹴したそうです。それでお父さんも決心して大樹にしたそうです。以来ぼくは大(ひろ君)と日頃呼ばれています。ぼくはこの名前が好きです。ぼくは今高校10年生です。学校は楽しいです。

## 北海道帯広市の大樹さん

特別住民番号065

大樹の命名において、まず彼の母(私)の名前を語らなければ話にならない。私の名は「みのり」を書く。30数年前の命名にしてはモダンだと思う。しかし、この名とは反して私の身体は実らなかった。身長150cm足らずもう少し背でも高ければモデルにでもなれたのに!と心の中で思っている。そこで、第一子が男の子と分かった時には絶対「大」の字を付けた名前と切望し、まっすぐに、心が広く育てて欲しいとの願いを込めて「大樹」と名付けた。幸い彼の父(私の主人である)は、180cmもある身長なので、大樹も今のところ幼稚園では大きい方である。幼稚園児なのに、洋画ファンでターミネーターやバグド



ラフトなどが、彼の一押し作品である。先日は、スターウォーズエピソード1を映画館で観てきた5才児である。

名前といえば、彼の妹は「真実」=まみ=母の名と比べると古風のような気もするが、予防接種に行ったある日、母子手帳の表紙を見ながら、小児科医は、「みのりちゃん、今日の調子はどうかな？」と真顔で言われ、看護婦はもちろんのこと、診察室中大爆笑になった事もある。最後に、健康で元氣にと願う親心は不安である。(母)

## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号066

平成元年、8月30日生まれの我家の大樹。結婚して第一子の子供ということもあり、多くの候補の中から命名しました。実は色々こだわりがあり、とにかく「樹」という漢字は、どうしても名前の中に使いたく、しかも漢字2文字、3文字の名前と決めていました。理由としては、父親の名前にも「樹」がつき、男の子だったら、絶対に父親の1文字を使いたかったのです。もちろん女の子の場合は、私、母親の1文字を〇〇〇と、決めていたのです。



たまたま、いどこにあたる子が、4月に産まれ、男の子だったのですが、「ユウスケ」と命名されました。私達夫婦は、あせりました。どうしてかという、実は、「ユウキ」という名前が第一候補だったのです。さすがに「ユウ」とつく名前は、もう使えなくなってしまいました。当時のはやりの名前の中に、「ユウ」、「ダイ」は、本当に多い名前でした。スーパーなどに買い物に行くと、必ずと言っていいほど、「ユウ〇〇」、「ダイ〇〇」と呼ばれている子供がいました。

8月になり、我家にも待望の男の子が産まれ、何の迷いもなく「大樹」と、名前がつけられました。本当に力強い響きがあり、男らしく、立派な名前だと思います。親はもちろんですが、本人もとても気に入ってくれます。今となっては、「ユウキ」でなくて、良かったと思います。

そして、実は後から気付いたのですが、我家の苗字は「チバ」というのですが、フルネームで「チバ ダイキ」、漢字で考えると「セン」の「ハ」が茂る様な「オオ」きな「ミキ」の、立派な大木。なんて、すごく意味のある名前なんだろう…と、親は、大満足です。よく「名前負け」なんて事もあります。今のところは、大病することもなく、元気に伸び伸びと育っています。「大樹」という名前は、本当に立派な意味のある名前ですが、そういう事にプレッシャーを感じる事なく、今まで通り、元気で明るく育て欲しいと願っています。(父)